

○提案内容(1/2)

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等  
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>(3) データ保有/(4) データプラットフォーム/(5) データ活用/(6) これらを活用した、新たな応用技術                      (株)INDETAILは協力・提携企業・団体と共に協議会を設置し、再生エネルギー・電気自動車・ブロックチェーン技術を活用した、エコで持続可能な次世代交通インフラの構築を推進します。北海道檜山郡厚沢部町での実証実験と、それに続く各地域への事業展開を進めていきます。</p> <p>1) 再生エネルギーの創出(太陽光など)、2) EVスタンド(休息充電器)の設置(⇒エネルギー提供)、3) EVバスの導入(⇒エネルギーの活用)、ならびに、4) 1)～3)の利用循環を促進させる仕組みとして、上段のブロックチェーン技術を活用した移送コインの取得と支払いのプラットフォームの整備、といった一連の技術による次世代交通インフラ及びまちづくりを手掛け、将来の地域内自動運転の実現に貢献したいと考えます。</p> <p>(株)INDETAILが有するブロックチェーン技術を活用・発展させ、GPSによる移動情報の習得やデータによる効率的な走行経路の選定を行い、EV車、EVスタンド、再生エネルギーを連携する、ブロックチェーンを用いたプラットフォームを構築します。</p> <p>厚沢部町での実証実験を経て、次フェーズにおける各地での導入においては各自治体単体の交通インフラ構築だけでなく、各地域における最適なエネルギーマネジメントや、ビッグデータを活用した地域間連携も期待することができます。</p> <p>(株)INDETAILについて                      【ブロックチェーン技術での開発実績】                      NISEKO Pay(ニセコペイ/スキーリゾート地でQRコード決済によるキャッシュレス化の推進)、医薬品デットストック解消サービス、企業内通貨コミュニケーションサービス、多言語対応スマートチェックインサービス等                      【講演実績】                      富山ブロックチェーン研究会・中小機構北海道本部勉強会・次世代グローバルリーダー研究会・FCA 北海道・関東支部合同例会(富士通系情報処理サービス業グループ社主催)・学術情報ソリューションセミナー・北海道科学大学・北海道新聞社・Blockchain GIG(日本オラクル社主催)など官民での講演多数</p>	<p>(3) (4) (5) (6)</p>

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>(ア)交通・モビリティ                      日本国内の地方における、少子高齢化・過疎化による交通インフラの衰退・地域経済の衰退に対し、再生エネルギー・電気自動車(EV)・ブロックチェーン技術を用いた次世代交通プラットフォームを構築し、新たな移送手段・地域活性化の実現に貢献するものです。</p> <p>不採算性による公共交通機関の廃止に伴う通学困難などの交通弱者問題、また地域に交通手段がないため、自らの運転を余儀なくされた高齢者による事故は、ますます大きな社会問題となっております。さらに、バス運転手など移送人員の不足・人件費と燃料費の高騰は、交通機関を運営する地方自治体や地域企業の経営を圧迫しております。また、地方の賑わいと商工業の中心である商店街の苦戦も重なり、地方経済の悪循環が各地に発生しております。</p> <p>こうした地域の大きな課題に、北海道発のローカルベンチャーとしてブロックチェーン等先進技術を提供するINDETAILが、再生エネルギー・EV・IT等の先進企業と協働し、さらに各関係官公庁の協力を得て、先進技術を融合した次世代交通プラットフォームを提供していきます。</p> <p>電気自動車(EV)・再生エネルギー・ブロックチェーンによるMaaS型の次世代交通インフラ(シームレスな移動)の構築プロジェクト(ISOU Project)の実証実験を北海道檜山郡厚沢部町で推進、さらに全国の過疎地域での実現を目指し、前述の課題解決に向けた事業展開を進めて参ります。</p>	<p>(ア)</p>

(3) その他

○提案内容(2/2)

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等  
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)~(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>(3) データ保有/(4) データプラットフォーム/(5) データ活用                      (株)INDETAILは設置されているEVスタンドにブロックチェーン技術を活用し、繋げることで、エンドユーザーにとって使いやすいポイントシステムをはじめとした顧客管理や決済などのネットワークの提供を進めていきます。                      日本全国のEVスタンド一つをブロックチェーンで管理することにより、いつ誰がどこで充電を行ったのかの管理が可能になり、それに付随した、ポイントが受け取り、顧客管理や決済を行えるサービスになります。従来の様な会社ごとのポイントサービスではなくなり、どこのメーカーのEVスタンドで充電を行ったとしても、共通のポイントが付与され、使用が可能になります。                      今後、全国各地へと事業を展開し新たな交通インフラに付随するサービスを提供することでエコ社会の実現に貢献したいと考えます。空きメモリが少ないIoTデバイス(例:TVなど)にも技術を応用したプラットフォームの構築可能性を検討していきます。</p> <p>(株)INDETAILについて                      【ブロックチェーン技術での開発実績】                      NISEKO Pay(ニセコペイ/スキーリゾート地でQRコード決済によるキャッシュレス化の推進)、医薬品デットストック解消サービス、企業内通貨コミュニケーションサービス、多言語対応スマートチェックインサービス等                      【講演実績】                      富山ブロックチェーン研究会・中小機構北海道本部勉強会・次世代グローバルリーダー研究会・FCA 北海道・関東支部合同例会(富士通系情報処理サービス業グループ社主催)・学術情報ソリューションセミナー・北海道科学大学・北海道新聞社・Blockchain GIG(日本オラクル社主催)など官民での講演多数</p>	(3) (4) (5)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ  
 ※課題については、別紙3の(ア)~(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>(ア)交通・モビリティ                      EV車の普及にはスタンドのインフラ構築が不可欠です。                      しかしながら、従来のガソリンスタンドは会社・ブランドで設置が決定、管理も企業単位で行われ、各社の経営指標に基づく顧客管理や給油状況、価格などの把握を行っても、必ずしも地域自治体のニーズ・全体最適化・社会的意義(EV普及とエコ社会の実現)に結びつかず、EVスタンド普及が進んでいないのが現状です。逆に施設・地域で個別に設置されているEVスタンドは地域のニーズ・社会的意義に基づいていても、実際の顧客管理・マーケティングを適切に行うことが難しく、利用促進・地域活性化が実現できているものは、ごく一部に限られております。                      EVスタンドはスタンド個別で分散し配置される性質上、スタンド単位がネットワークで繋がり顧客情報の管理や決済、マーケティングまでを行うタッチポイントとなります。このEVスタンドを全国各地へ普及させ、それらをブロックチェーンネットワークで繋がり管理する事を可能にすることで、EVスタンドの設置スピードの加速、エンドユーザーの利便性の向上に貢献したいと考えます。各所でのEVスタンドの設置が早まることで、エコ社会の実現へ貢献したいと考えます。                      IoTデバイスには空きメモリが少ないですが、(株)INDETAILはブロックチェーンとライトニングネットワークという技術により、それらを実現可能にします。EVスタンドの設置により、新たな形のスタンドサービスの構築に寄与します。</p>	(ア)

(3) その他

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)